障がい者福祉情報

154号 2020年2月

編集・発行
社会福祉法人　福岡県社会福祉協議会
〒816-0804　春日市原町３丁目１番地７
クローバープラザ
TEL 092-584-3330　FAX 092-584-3319
http://www.fuku-shakyo.jp/kouhou/kouhou.html

災害時における在宅高齢者・障害者に対する支援シンポジウムが開催されました

去る令和元年８月３日(土)、九州弁護士会連合会、福岡県弁護士会が主催するシンポジウムが北九州市立男女共同参画センターで開催されました。

【基調講演】
「誰ひとり取り残さない防災に向けて」
　講師　立木　茂雄氏(同志社大学社会学部　教授)
【パネルディスカッション】
コーディネーター
　・岡　直幸弁護士(ゆくはし総合法律事務所)
パネリスト
　・林　芳江氏(北九州市障害福祉団体連絡協議会会長)
　・北九州市危機管理室、地域福祉推進課
　・藤澤　健児氏(ＮＰＯ法人 ＡＮＧＥＬ ＷＩＮＧＳ)
　・工藤　舞子弁護士(法テラス福岡法律事務所)

参加費は無料で、高齢・障害者施設従事者や行政、地域包括支援センター、手話サークル等約150名の方が参加されました。
次の頁では、基調講演、パネルディスカッションの内容をご紹介します。

もくじ／通巻154号

・災害時における在宅高齢者・障害者に対する支援「シンポジウム」…… １～４
・第７回福岡県「まごころ製品」大規模販売会開催報告…… ５
・「福岡県障がい者差別解消推進功績者表彰」の受彰者が決定…… ５
・お知らせ…… ６
・ほんだな…… ７
・福岡県障がい者福祉情報ハンドブック２０２０　案内…… ８

基調講演

このシンポジウムでは、災害時における在宅の高齢者・障害者に対する支援に焦点を当て、今何が求められているか実践的な討議が行われました。

基調講演では、防災の基本的視点として、災害は①地震、津波、洪水、土砂災害などの災害因と、②社会の脆弱性の相関関係で起こるものであり、災害は「社会現象」であると話されました。

続けて、平時の福祉の取組みと、いざというときの防災危機管理の取組みが分断されていること、その結果、災害発生時の被害が、障がいのある方々に集中すること、そのためには、平時の取組みと災害時の取組みを切れ目なくつなぐ必要があると話されました。

また、要支援者は、通常、福祉サービスを使って生活しているが、いったん災害が起こった時に一番効率的で効果的な支援の担い手は、隣近所にお住いの方々であり、そのためには、地域の力を高めていかなければならないことを話されました。

次に、事前に障がいのある方131名にアンケート調査をし、その結果が発表されました。

その内容を一部紹介します。

【災害時に備えての準備について】

①災害時に誰に連絡するか決まっていますか。
はい　45％　いいえ　51％

②災害時に誰に援助してもらうか決まっていますか。
はい　25％　いいえ　72％

③災害時にどこに避難するか決めていますか。
はい　42％　いいえ　56％

また、いいえと回答された方から次の様な意見がありました。

・動き回るより自宅マンションに留まった方が安全。
・どこに避難するか分からない。
・避難所が遠く身体が不自由で行けない。市内で転居した際に町内会に入らなかったため連絡がない。
・状況によって避難場所が違ってくる。等

④実際に避難する場所まで行ったことがありますか。
はい　37％　いいえ　52％

⑤持ち出し品を準備していますか。
はい　26％　いいえ　72％

⑥避難行動要支援者名簿を知っていますか。
はい　21％　いいえ　75％

⑦避難行動要支援者名簿に登録する気持ちはありますか。
はい　57％　いいえ　34％

また、いいえと回答された方から次のような意見がありました。

・登録するとどういうメリットがあるのか知らない。
・家族と一緒に避難したい。
・まだ深刻に考えていない。
・避難行動支援者の制度を知らない。等

【福祉避難所について】

避難場所での生活で、不安なことはありますかの問いに対しての回答を紹介します。

【肢体】

（避難場所の環境）

・食事や水分摂取がうまくいくのか、オムツ交換の場所があるか、あったとしても臭いで周囲の人に嫌がられないか。

・必要な介助が受けられるかどうかが不安。

・医療に係る事態ですぐに対応できるか不安。

・常に情報が入るようになっているか心配。

（周囲への配慮）

・大声を出してしまうので皆と過ごせない又は本人に過度なストレスがかかる。

【聴覚】

（情報伝達）

・そばに通訳がいないと不安。

・聴覚障害者は情報が伝わってこないので全てに取り残される。

【視覚】

（行動の制限）

・移動が困難なので、動きやすい場所を確保できるか心配。

・避難場所の状況把握として、もし避難場所が狭い、若しくは密集しているなら移動時に他人のスペース、若しくは荷物等を踏み荒らしてしまわないか不安。

【知的・精神・発達・難病】

・不安になりパニック状態になると思う。

・たくさんの人の中にいられるか、障がいを理解してもらえるか不安。

・常に生活面でこだわりがあり対応が心配。

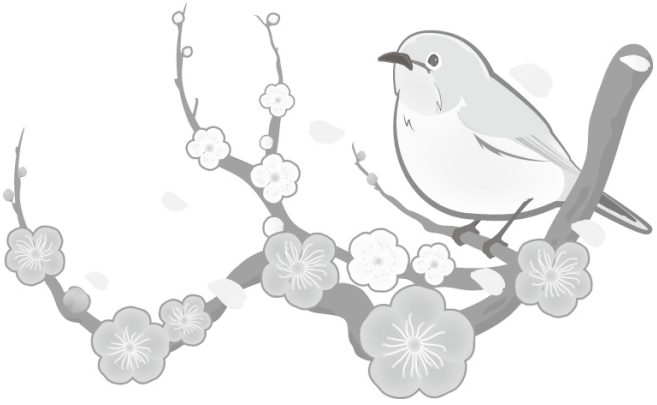
・他人とコミュニケーションが取れないので人の中での生活は不安。

・長期の避難になった場合、本人の心身の状態が心配。

パネルディスカッション

基調講演とアンケートの結果を踏まえ、パネルディスカッションが行われました。

福祉避難所の状況について議論がされ、北九州市では福祉避難所のスペースを約400名分作っていること、130ある市民センターが福祉避難所と同じくらいの能力を持っていることなど述べられました。このことに対し、福祉避難所に入りたいというよりも、地域の避難所が合理的配慮をしてくれればいいという意見があり、当事者は福祉避難所を求めているのではなく、避難した先での合理的配慮の提供を求めているという意見がありました。



このシンポジウムを担当された方は、福祉サービスが発達し過ぎると地域の互助機能が衰弱し、いざというときに地域力が無くなってしまうことなど気付くことができ、このシンポジウムで学んだことを九州から全国に広げていきたいと話されていました。

九州弁護士会連合会では「高齢者・障害者の支援に関する連絡協議会」が設置されており、九州各県でシンポジウムが開催されています。

障がいのテーマでは平成28年7月に長崎県で「障害者福祉における弁護士の役割と今後の課題」、また、29年12月には、沖縄で「障がいのある人の社会参加と職場における合理的配慮」をテーマにしてシンポジウムが開催されています。

次回のシンポジウムは、テーマは未定ですが、令和2年12月5日に宮崎県で開催される予定です。

お知らせ

第22回障がい者駅伝大会 in 海の中道海浜公園

障がい者が駅伝を通して健康の維持、増進及び機能の回復を図り、仲間との交流や相互理解を深めて、走る楽しさや喜びを体得するとともに、スポーツに対する関心を高め、日常化を図ることを目的に開催されます。

皆さん、ぜひ応援に来てください。

※選手の申込み受付は終了しております。

【主催】
福岡市障がい者スポーツ協会

【開催日時】
令和2年3月8日（日）
10時30分～14時

【会場】
海の中道海浜公園・光と風の広場・カモ池沿路コース
福岡市東区大字西戸崎18－25

【競技方法】
1チーム7名編成（小学5年生以上）で、健常者は2名まで参加ができます。（健常者が走る区間は、2～4区のみ）

一区間約1・5㎞×7区で合計タイムを競います。

順位は、申告タイムとのタイム差によって決定され、優勝・2位・3位までのチームにはメダル及び副賞が授与されます。

また、5位までのチームを入賞とし副賞が授与されます。そのほかにも特別賞があります。閉会式終了後には、全チームに記録証が渡されます。

開催報告

第7回福岡県「まごころ製品」大規模販売会

福岡県では、障がいのある人がつくる製品や提供するサービスを「まごころ製品」と名付け、その販売や提供を通じた収入向上に取り組んでいます。

去る1月15日（水）から1月19日（日）までの5日間、「第7回福岡県『まごころ製品』大規模販売会」を福岡三越で開催しました。

福岡県内から57の障がい者施設などが出店し、約1300種類、6万点以上の「まごころ製品」が勢揃いしました。

また、販売会に併せて、料理研究家による「料理セミナー」や施設による「ワークショップ」、博多を代表する一流料理人が、障がい者施設の新鮮野菜などを使った料理をチャリティ価格で提供する「博多食文化の会スペシャルイベント」など、様々なイベントが開催されました。

会期中は、実際に商品を手に取って、お気に入りのまごころ製品を探されながら、お買い物を楽しまれる多くのお客様で賑わいました。

大規模販売会 会場の様子

福岡県障がい者差別解消推進功績者表彰　受彰者決定

福岡県では、障がい及び障がいのある人への理解を深め、障がいを理由とする差別を解消するための取組に関し顕著な功績があった方を表彰しています。

今年度は、障がいのある人がファッションを楽しむための服作りなどの活動をされている「鈴木綾」氏、視覚障がいや聴覚障がいのある人が展示等を楽しめる観覧ツアーやイベントを実施されている「九州国立博物館」、障がいのある人の理解促進のための全社員教育及び塾生向け講座を開催した「英進館ホールディングス株式会社」を表彰しました。

受彰者の皆さんの取り組みは、県のホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

県ホームページ：
http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shougai-sabetukaishou-hyoushou19.html

受彰者の皆さんとの集合写真

「まごころ製品」ショップ＆デスクをご利用ください

福岡県庁地下1階にある「まごころ製品」ショップでは、弁当、パン、お菓子、雑貨などの販売とクリーニングのサービスも受付けています。

「まごころ製品」デスクでは、企業、官公庁や個人から印刷、清掃、各種記念品作成等のサービスをワンストップで受付けています。

【営業時間】
9時00分～18時00分
（土日祝日、年末年始を除く）

【問い合わせ先】
「まごころ製品」ショップ＆デスク
電話＆FAX：092-632-7100

【福岡県からのお知らせ】

４月２日は世界自閉症啓発デー
４月２日から８日は発達障害啓発週間です。

毎年４月２日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。日本では４月２日から８日を「発達障害啓発週間」としています。

啓発講演会

■日　時　４月５日（日）13時～ 16時
（12時から受付）
■場　所　クローバープラザ
アリーナ棟２階大ホール
（春日市原町３－１－７）
■内　容
坂井聡さん（香川大学教育学部特別支援教育講座教授）による講演「発達障害のある人とのコミュニケーションのトリセツ」
■定　員　500人
■参加費　無料
（※事前に申し込みが必要です）
■申込締切　３月19日（木）

《申込・問い合わせ》
福岡県発達障がい者（児）支援センター（福岡地域）Life
☎ 092-558-1741　FAX 092-558-1742

「障がい」に関する基礎知識や合理的配慮のポイントをお伝えします！！

企業・事業所が主催する研修会等に、障がい者差別解消専門相談員が講師として出向き、「障がい」に関する基礎知識や合理的配慮のポイントをお伝えします。

■日時：平日・土日・祝日
（年末年始を除く）10時から20時まで
■会場：会場の手配、使用料等は、申込者負担
※会場は、福岡県内限り　※座学形式
■講師派遣費用：交通費の支給や謝礼等、不要

《申込・問い合わせ》
福岡県障がい福祉課社会参加係
☎ 092-643-3264　FAX 092-643-3304
E-mail：shakaisanka@pref.fukuoka.lg.jp

聴覚障がいのある人への支援者養成講座（予定）

聴覚障がいのある人への情報提供を支援するために必要な知識・技術が習得できる講座を予定しています。

手話通訳者養成講座

■対　象
手話検定２級以上に合格しており、日常的に手話活動をしている県内在住の18歳以上（令和２年４月１日現在）で、手話通訳者として県内での活動を希望し、以下の条件を満たす人
（通訳Ⅰ）手話奉仕員養成講座修了者
（通訳Ⅱ）上記（通訳Ⅰ）修了者
（通訳Ⅲ）上記（通訳Ⅰ）、（通訳Ⅱ）修了者
※全講座の８割以上出席できることが条件です
■期　間
（通訳Ⅰ）４月開講予定（約６ヶ月間）
（通訳Ⅱ）10月開講予定（約６ヶ月間）
（通訳Ⅲ）５月開講予定（実習修了まで）
■場　所　クローバープラザ
（春日市原町３－１－７）

※参加費無料（テキスト代別途要）
※要申込（先着順）

《申込・問い合わせ》
福岡県手話の会連合会
☎ 092-584-3649　FAX 092-584-3649

要約筆記者養成講座

■対　象
県内在住の18歳以上（令和２年４月１日現在）で、要約筆記者として県内での活動を希望する人
■期　間　５月開講（約８ヶ月間）
■場　所　クローバープラザ
（春日市原町３－１－７）

※参加費無料（テキスト代別途要）
※要申込（先着順）

《申込・問い合わせ》
福岡県聴覚障害者協会
☎ 092-582-2414
FAX 092-582-2419

ほんだな

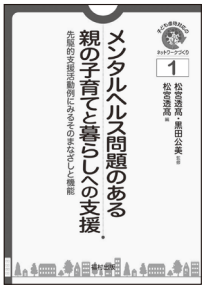
福祉情報センターでは、福祉に関する図書・ビデオの閲覧・貸出を行っています。

●利用時間　９：００～１７：００
●休館日　　月曜日（祝日の場合は翌日・第４月曜日は除く）
●貸　　出　図書・ビデオ・ＤＶＤ　合計１０点まで
※貸出の際は、クローバープラザ利用者カードが必要です。
※遠方の方や外出が困難な方のために配送での貸出返却も行っています。（送料実費負担）
●貸出期間　２週間以内
●問い合わせ先　福祉情報センター　〒816-0804　春日市原町３丁目１番地７
クローバープラザ東棟2階
TEL　０９２－５８４－３３３０　　FAX　０９２－５８４－３３１９

だけどだいじょうぶ
農中　茂徳　著　出版：石風社

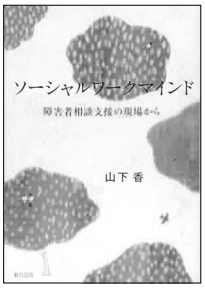
三池の炭鉱社宅で育った少年が「特別支援」学校の教員になった。聾学校・養護学校に三〇年間勤め、「障害」のある子どもたちとくんずほぐれつ心を通わせていった一教員の実践と思考の軌跡。

メンタルヘルス問題のある親の子育てと暮らしへの支援
松宮　透髙　編者　　出版：福村出版



子ども虐待とその発生要因の一つとされる親のメンタルヘルス問題との接点に着目し、多領域との連携による多様な生活支援の取り組みを具体的に実践者自身が例示した画期的な書。

ソーシャルワークマインド
～障害者相談支援の現場から～
山下　香　著　　出版：瀬谷出版



さまざまな障害を抱える人々のために、相談支援員はどう仕事を進めたらよいか。
援助技術に基づいた技法、ケースワークを通して生み出す社会資源、コンサルテーションの力などについて、多くの事例を通して伝える。

新・おやこ手話じてん
全国早期支援研究協議会　編者
出版：東邦出版

手話言語への入門の第一歩として活用できる手話辞典。子どもが表現しやすいこと、子どもが見てイメージしやすいことをポイントに選択した、幼児の日常会話のほぼ８割をカバーする約1200語を絵とともに収録。

福岡県障がい者福祉情報ハンドブック2020

令和２年４月
発行予定

発行　福岡県社会福祉協議会（福岡県福祉情報センター）

★障がい者福祉制度・施策を満載

1　手帳制度
2　保健・医療・衛生
3　日常生活援助
4　教育・育成
5　療育・訓練
6　年金・手当
7　税金
8　就労
9　まちづくり・ボランティア
10　住宅
11　移動・交通
12　教養・余暇・スポーツ
13　情報・通信・コミュニケーション

★県内における障がい福祉サービスの利用状況等を掲載

★県内全市町村の実施する地域生活支援事業・地域生活支援促進事業を網羅

・　相談支援事業
・　意思疎通支援事業
・　日常生活用具給付等事業
・　移動支援事業
・　地域活動支援センター機能強化事業
・　その他の事業

★各種相談窓口、施設名簿、地域活動支援センター等を掲載

購入を希望の際は、下記窓口にお越しいただくか、申込書に必要事項を記入のうえ、ＦＡＸまたは郵送でお申込みください。

価　格：１部　1,300円（税込）　A4版

送　料：２部まで616円（九州内※離島除く）、３部以上５部まで748円
６部以上及び九州外、離島の送料は、下記へ問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ先】
福岡県社会福祉協議会　県民サービス部　人材・情報課
〒816-0804　春日市原町３－１－７　クローバープラザ東棟２階
ＴＥＬ　092-584-3330　ＦＡＸ　092-584-3319